

事務局ニュース

2020 年 第 4 号
発行：2020 年 4 月 6 日

〒509-0197
岐阜県各務原市鷺沼各務原町 1-4-1
生活協同組合コープぎふ 1 階
電話 058-379-1781 Fax 058-379-1782
E-mail: gifuken@unicef-gifu.jp <https://www.unicef-gifu.jp/>



県協会 GR コード

新型コロナウイルス感染が世界中で拡大し続ける今こそ 途上国の子どもたちにユニセフの支援が必要です。

生活が一変した子どもたち COVID-19（新型コロナウイルス）によって、数か月の間に世界中の子どもたちの世界は一変しました。数億人の子どもが学校に通えなくなり、保護者は仕事を失い、国境は閉鎖されました。（中略）

ユニセフは、子どもたちが水と衛生サービスにアクセスできないことを懸念しています。ご存知のように COVID-19 との闘いでは石けんで手を洗うことが重要です。それでも、世界の人口の 40%、30 億人が、水と石けんで手を洗う設備が自宅にありません。

世界的に広がる休校措置 ユニセフは、子どもたちの教育も心配しています。少なくとも 120 か国で全国的な休校措置が行われ、世界で就学している子どもの半数以上が影響を受けています。（中略）

休校措置によって、学習の機会だけでなく、学校の栄養や保健プログラム、清潔な水、正確な情報へのアクセスが制限されます。そのため、ユニセフは、オンラインでの遠隔授業、ラジオやテレビ番組を通じた学習といった、学校へ通う以外の学習手段を導入できるよう、世界各国の教育を扱う省庁とともに取り組んでいます。

【2020 年 3 月 25 日ニューヨーク発】日本ユニセフ協会 HP より



©UNICEF/UN1314221/Sayyar

イランのエマーム・ホメイニー国際空港に到着した医療用マスク、ガウン、ゴーグルなどの支援物資（2020.3.5 撮影）



©UNICEF/UN1314608/Declar

コンゴ共和国に到着したユニセフの支援物資（2020.3.26 撮影）

日本ユニセフ協会は新型コロナウイルス緊急募金を受け付けます。

詳しくは日本ユニセフ協会の HP をご覧ください。
QR コード→



岐阜県ユニセフ協会でも受け付けています。

※この募金は紛争や貧困などにより、以前から医療体制が脆弱な途上国において命の危険にさらされている子どもたちを最優先に、新型コロナウイルス感染拡大に対応するユニセフの活動に役立てられます。
※なお、本緊急募金にお寄せいただいたご寄付は、日本を含む先進国は支援対象といたしません。

3 月は外に出かける活動がほぼ休止状態でしたが、そんな時でも募金を届けてくださる団体、学校、個人の方がいました。

3月2日（月）
森乳スマイル倶楽部運営委員さんの訪問を受けました。
森永乳業の役員、従業員を中心に全国で約 1,800 名の会員いる倶楽部です。会員は月々の給与から社会貢献活動に役立てる寄付を積立しています。今回はその積立金をユニセフ募金としてお預かりしました。

3月3日（火）
岐阜市立長森東小学校募金受取
3月19日（木）
各務原市立鷺沼第二小学校募金受取

どちらの小学校もアルミ缶回収 1 年分の収益をユニセフ募金してくれました。子どもたちは臨時休校ですので担当の先生からお預かりしました。



生活協同組合コープぎふからはお正月のカレンダー募金と店舗などで集まった募金を、
岐阜県学校生協からは組合員利用額の一部を募金として、
岐阜聖徳学園高校からも 1 年間の取り組みの中で集まった募金をお預かりしました。

3月23日（月）
この間集まった外国コインを日本ユニセフ協会に送りました。17Kg ありました。